

## 地域で“ながら見守り”始めませんか？

### ながら見守りとは？

「ながら見守り」とは、日常生活を送る中で、防犯の視点を持って子供たちを見守る活動です。

具体的には、通勤や通学、犬の散歩やウォーキングなど「〇〇しながら」子供達を見守ります。

見守っていただくのは、主に通学路や子供達が遊ぶ公園や広場で、子供達の登下校に合わせて行います。

「ながら見守り」は、男女問わず、若者から高齢者、その地域で働いている方と幅広い世代が参加することが出来ます。



兵庫県警  
ながら見守り  
紹介ページ



### 現状

兵庫県内の防犯グループ数は、多い時には、約2300グループありましたが、令和6年4月1日時点では、約1800グループとなり、防犯グループは減少傾向にあります。

防犯グループ活動人員の高齢化などにより、人員が減少しており、グループによる活動を維持できず、解散する地域も増えてきています。

### 課題

防犯ボランティア活動に参加していただける方が少なくなってきた現状から、既存の防犯ボランティアの方だけでは、子供の見守り活動等の地域防犯をカバーできなくなっており、活動人員の確保が課題となっています。

防犯ボランティアの高齢化が進む中、幅広い世代の参加が求められています。

### 解決策

兵庫県警が推奨している「ながら防犯」は、日常生活の合間に見守り活動が行えるため、今まで防犯ボランティアに参加することにハードルが高いと感じておられる方にも、日常生活で少し防犯意識を持っていただくだけで、子供の見守り活動に参加いただけます。

若い方から高齢者まで、誰でも簡単に出来ることですので、幅広い世代が参加が見込めます。

### 活動紹介～「ながらパトロール運動」～

#### 【大和地域第一～第四安全クラブ】

川西市で活動している「大和地域第一～第四安全クラブ」は、令和4年5月から「ながらパトロール運動」を行っており、地域全体で「ながら見守り」に取り組んでいただいております。

地域全体で行う工夫として、登録料200円を負担していただいた方には、夜間時に点滅する「ダイワ・レンジャー」と書かれたリストバンドを配付していて、現在は、約140の方が運動に参加し、地域全体で、ながら見守り活動をしていただいております。



リストバンド



着用時

# 特殊詐欺対策

## 地域全体で特殊詐欺から身を守ろう

特殊詐欺被害を防ぐには、固定電話対策といったハード面の対策の他、最新の情報を知っておくというソフト面での対策も必要です。

地域で開催される防犯講習会に参加して最新の情報を得る方がいる一方で、色々な理由で、そういった会に参加できず、また、各種メディアが啓発する特殊詐欺情報に触れない方もいらっしゃると思います。

そういった方々に情報を届けるには、地域の方々の力が必要です。

地域全体で、防犯意識を高めて、特殊詐欺被害から身を守りませんか？

### 取組紹介 「特殊詐欺被害防止100日運動」

西宮市にある37の自治会は、自分達が住んでいる地域から特殊詐欺の被害を出さないという想いで、甲子園警察と力を合わせ、地域全体で取り組む「特殊詐欺被害防止100日運動」という活動を行っております。

「特殊詐欺被害防止100日運動」とは、自治会単位で地域住民が協力し合い、地域の絆で100日間、特殊詐欺被害をゼロするために、色々な啓発活動を主体的に行う運動です。

#### キャンペーンの様子



#### 訪問活動の様子



具体的な活動としては、自主的な勉強会の開催や、金融機関付近での防犯キャンペーンの実施等、自治会が主体となって活動を行っております。

また、ある自治会では、どうすれば高齢者に意識付けできるかを考え、「子供の話なら興味を持って聞く」という意見が出たことから、地域の小学生と自治会の代表者が、警察署の担当者とともに、高齢者宅を訪問し、特殊詐欺に関する呼びかけを行っています。

運動の結果、令和5年の期間中は参加した自治会での被害は2件にとどまり、参加する自治会が増えた令和6年の期間中も2件の被害にどどまりました。

特殊詐欺被害防止の機運が高まったことで全体の被害件数も低減しています。



「ながら見守り」や「特殊詐欺被害防止100日運動」についての問い合わせは、兵庫県県民生活部くらし安全課までご連絡ください。